

## 企画部会 N P O臨床トンネル工学研究所 若手勉強会報告書

去る1月20日にオンラインにて若手技術者による「勉強会」を開催しました。

### 1. 開催日時と場所

日 時：令和3年1月20日（水） 13:00～15:00

※オンライン（Zoom）による開催

### 2. 開催内容

13:00～13:05 開会挨拶：古賀幹事

13:05～13:10 勉強会の進め方と注意事項の確認：司会進行 松岡委員

13:10～13:30 1分で自己紹介（名前、所属、現在の業務内容）

13:30～13:45 タイムマネジメントとは

13:45～14:15 演習①（自分の業務を分類する）

14:15～14:20 休憩

14:20～14:50 演習②（分類した業務の効率化を考えてみる）

14:50～14:55 まとめ

14:55～15:00 閉会挨拶：大和九州支部長

15:00～16:00 雑談コーナー

### 3. 開催目的

若手勉強会「若手技術者に必要なタイムマネジメント」と題して「タイムマネジメントについての理解」をメインテーマとして勉強会を開催しました。この勉強会を通じて、「いかに効率よく時間を使って行動するか」という行動マネジメントの手法を理解し、効率化への糸口をつかんでいただくことを目的としました。

### 4. 結 果

勉強会へは若手技術者の参加者が14名（正会員4名）でした。また、九州支部よりオブザーバーとして九州支部長が参加しております。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大予防に配慮し、対面形式からオンライン形式に変更しました。これまでの運営方法の見直しや、制約を受けつつも、九州以外の地域からの参加頂けた事により新たな知見も得られました。開催後の参加者からのアンケート結果は次ページ以降に示しておりますが、参加者からは比較的高い評価をいただいております。アンケートについては、ほぼ全員（13/14名）から回答があり今後の企画運営にあたり貴重さ意見が頂きました。今回、懇親会は開催できず、社外の繋がりを深めることは十分ではなかったと思いますが、参加者からは満足の回答が頂け良い勉強会になったと思われしますので、今後とも定期的開催できればと考えます。

（記録 企画部会 松岡俊夫（株式会社 安藤・間））

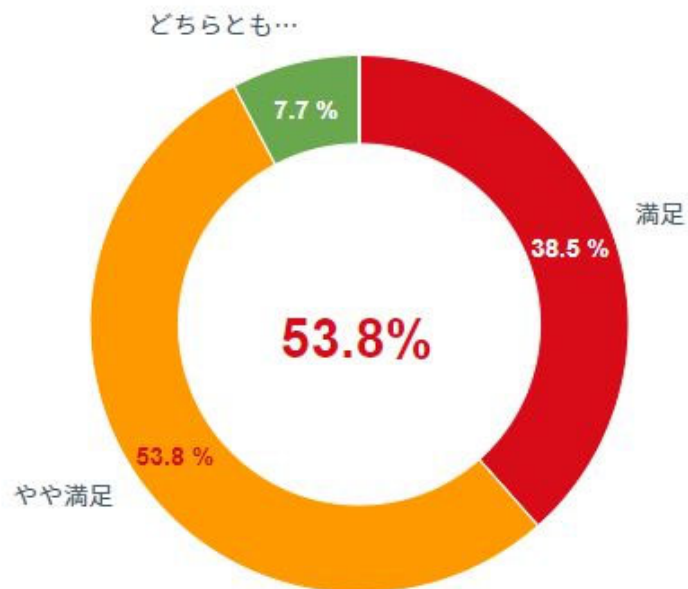
## アンケート結果

1. 今回、若手勉強会が開催されることを何から見聞きして知りましたか。



今回の参加者の方々は大多数が「社内の同僚または上司の紹介」ということでした。「その他」としては、支部会からという方が居られました。

2. 今回の若手勉強会について、総合的にどのくらい満足していますか。



勉強会の評価としては、おおむね「満足」「やや満足」と回答をいただきましたが、1名の方から「どちらともいえない」との回答でした。この点については、改善する必要があります。

3. 今回の若手勉強会に対して「[Q2]」と回答した理由をお書きください。

- ・内容が分かりやすく、ベテランの先生方のお話しもとても勉強になりました。
- ・業務の効率化を考えるきっかけにはなったが、具体的な対策を見つけるには至らなかったため。
- ・時間の使い方についてしっかりと考える良い機会だった。他現場の改善事例など具体的に聞けるのもっとよかった。
- ・業務の効率化について考えるきっかけとなったため。
- ・時短をしなければならないなかで、どのようにすればよいか悩んでいたため、効率化するための自分の業務の見直しをできたことがよかったです。また、捨てる、任せるということが大切と思うので実行していきたいと思います。
- ・途中で退出したため、最初の講義しか聞いていませんが、仕事をコントロールすることが非常に大事だということを再認識しました。
- ・仕事の効率化につながる手法として、「捨てる」「任せる」「効率化する」といった体系的な考え方を学べたので「やや満足」としました。
- ・悩んでいる根本は他社も当社も同じだと感じました。情報の共有ができてよかったです。
- ・今回の勉強会に参加することで、普段は気にしていないタイムスケジュールについて振り返ることができ、反省・改善に繋がったから。リモートだったのが少し残念。
- ・リモートでの開催でしたが、勉強会のテーマに沿った内容であり、理解できた。
- ・働き方改革を進めていくうえで、興味がある内容だったため
- ・働き方改革求められる中、タイムマネジメントについて考えるのは良いと思います。ですが、せっかくトンネルに関わる技術者が集まったので最新の技術等の話が聞きたかった。

4. 今回の若手勉強会の以下の点に対して、どのくらい満足していますか。それぞれお知らせください。

■勉強会のテーマ



■セミナー・講演会の構成、内容



■コンテンツや休憩の時間配分



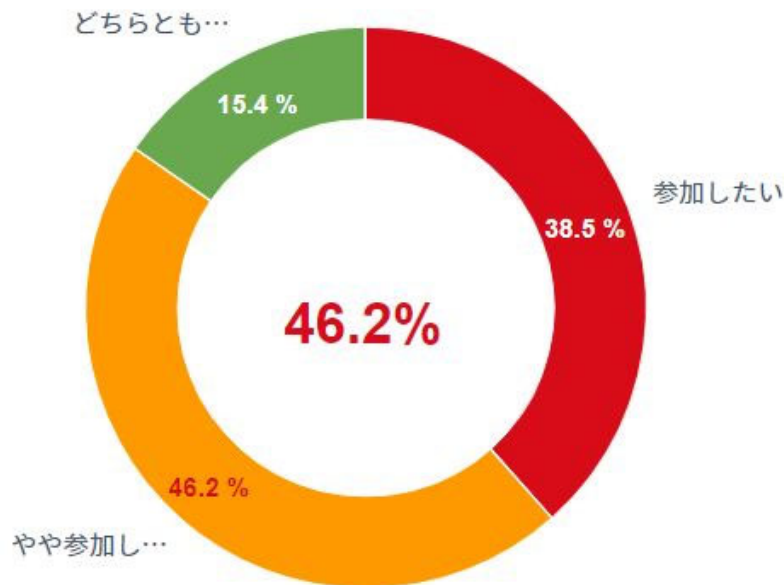
■進行のスムーズさ



■事務局の対応



5. また、若手勉強会に参加したいと思いますか。



「また、若手勉強会に参加したいと思いますか。」という問いに対して、「参加したい」38.5%、「やや参加したい」46.2%とおおむね良好な回答を得ました。ただ、「どちらともいえない」という方が2名ほどおられましたので、皆さんの意見を参考に再度検討する必要があると考えます。

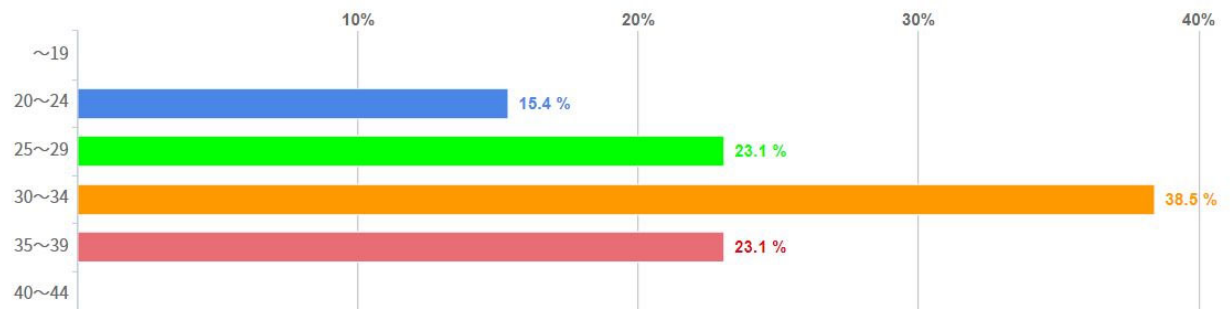
6. 今回の若手勉強会に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

また、今後取り扱ってほしいテーマ等がありましたら、お書きください。

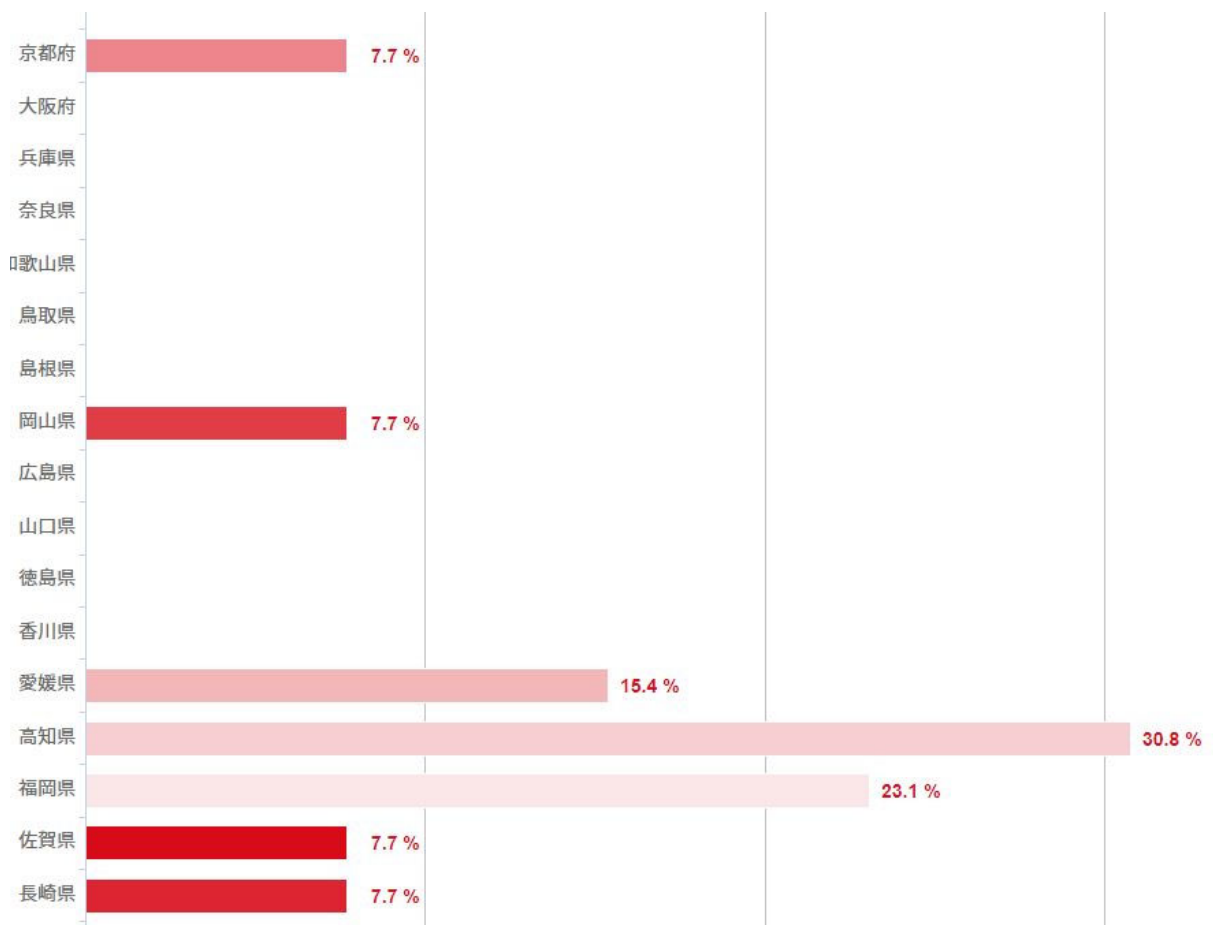
- ・ 時短に向けた取り組みについて、他の現場、人はどのようなことをしているか知る機会があればいいと思います。
- ・ トンネルに関する研修を受けたいです。例えば、例題を出して、それに対してあなたならどのように施工するかをグループ別にまとめて発表するなど。
- ・ 今回のテーマはトンネルに限らない内容でしたので、トンネルに特化した勉強会に参加してみたいと思います。
- ・ 休憩時間を10分にして頂きたいです。トイレに行って帰ってこれるか不安だったので行けなかったです。

4名の方から回答を得られました。トンネルに特化した勉強会を望む声が2名の方より寄せられております。時間配分については、こちらの落ち度でございます。今後は参加者の方に配慮した時間配分にて進行を考えさせていただきます。

## 7. 参加者情報（年齢）



## 8. 参加者情報（都道府県）



今回は、オンラインでの開催となり、1府6県からの参加となりました。